

理科

第5学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決力】【チャレンジ精神】【自己評価力】

「台風と気象情報」

【単元の概要】

単元の導入で、台風が日本に上陸した様子の動画を視聴することによって、自分たちの身を守るために「台風」に備えて自分たちに何ができるか考えよう。」という課題を設定します。台風への備えを考えるためには、気象情報や台風の特徴を知らなければならないので、気象情報の種類、台風の発生場所や進路、天気の変化について、インターネット、新聞、書籍を活用して情報を収集し、整理・分析していきます。理科で調べたことを基に、他教科等と関連を図り、自分たちにできる台風の備えを考え、そのアイデアを学級で交流します。

◆単元の目標

日本の夏から秋にかけて、南の海上から北上してくる台風の動きや進路について、気象情報を活用してその特徴を捉えてまとめるとともに、台風のもたらす大雨や風による災害等を新聞やインターネット等によって調べた活動を通して、台風の特徴やそれに伴う災害についての考えをもつことができる。

◆単元の計画（全6時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・台風が日本に上陸した様子の動画を視聴し、台風の威力の大きさや生活への影響の大きさを知る。自分たちが住んでいるところにも台風が来る可能性があると考え、「自分の身は自分で守らなければならない。」「できるだけ被害を小さくしたい。」という思いをもつ。どんなことが分かれば、台風の被害が小さくなるか出し合い、学習計画を立てる。本単元の学習を生かして「台風」に備えて自分たちに何ができるか考えよう。」という課題を設定する。

【情報の収集（2時間）】

- ・台風はどこでどのようにして発生するのか、図書室の図鑑やインターネットを活用して調べる。
- ・テレビ等で気象情報は見たり聞いたりしているが、詳しいことは分からないので、気象情報にはどんなものがあり、どんな意味があるのかを調べる。調べたことは、全体で交流し、台風や気象情報についての知識を増やすようにしていく。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- ・台風の進路と台風の接近にともなう天気の変化について調べる。授業の始めに、どんな資料があればよいか、意見を出し合い、情報収集に必要な資料を選択する。過去の台風の進路の情報を収集し、月別の台風の進路を分析していく。また、雲画像と天気の画像から、台風の位置と天気の関係について分析していく。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

- ・学習してきたことを基に「台風」に備えて自分たちに何ができるか考えよう。」という課題を、学級活動や家庭学習も活用しながら解決する。記述については、3段階のルーブリック指標を基に評価をする。

【振り返り（1時間）】

- ・資料収集の方法、分析の仕方、まとめ方等、自分の学び方を振り返るとともに、新たな課題を設定する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
理科	3	「電気で明かりをつけよう」
	3	「じしゃくのふしぎをさぐる」
	4	「とじこめた空気や水」
	4	「ヒトの体のつくりと運動」
	5	「ふりこのきまり」
	6	「水よう液の性質」
	6	「てこのはたらき」
総合的な学習の時間	3	「わたしたちの町 竹原」
	4	「竹原PR大作戦」
	4	「みんなが笑顔になる町 竹原」
	6	「受けつごう竹原小の伝統Ⅱ」
	6	「竹原の未来を考えよう」